

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日令和2年2月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200291
法人名	株式会社 ニチイ学館
事業所名	ニチイケアセンター国分 グループホームニチイのほほえみ
所在地	鹿児島県霧島市国分剣之字都町9-6 (電話) 0995-48-6623
自己評価作成日	令和2年1月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年2月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ol style="list-style-type: none"> <li>1、利用者様とスタッフが家族のような雰囲気です。</li> <li>2、家族が気兼ねなく、いつでも訪問出来る雰囲気作り。</li> <li>3、常に笑顔があふれる施設作り。</li> <li>4、地域の方々との交流づくり。</li> <li>5、利用者様の好む食事の提供。</li> </ol>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当ホームは、幹線道路沿いに位置し、空港や商業施設、病院などの社会資源も多く利便性が高い。法人の通所介護事業所や居宅介護支援事業所が併設され、地域の方から認知症や介護の相談、入所相談を受けるなど信頼がある。</p> <p>理念は、玄関などに掲示され、「利用者らしく生活できるよう支援するとともに一人ひとりの心に寄り添いたい」という職員の気持ちが表れたもので、毎月、業務ミーティングで唱和し共有に努め介護計画書にも反映させている。</p> <p>運営推進会議や災害時の避難訓練などは、近隣の小規模多機能ホームと協力して、消防署立ち合いのもと合同で参加したり、協力関係が築けるよう日頃から顔の見える交流をしている。また、併設した通所介護事業所などの法人の協力体制もあり、自治会長など地域の協力体制もあって、推進会議の参加メンバーには各々の役割の確認や実情把握のため訓練に参加していただき防災意識向上にむけ、アドバイスをもらったりしている。災害時に持ち出しがしやすいように備蓄を確保し、非常持ち出し袋は、玄関付近に常備している。</p> <p>職員は、嗜好調査をおこない、リクエストメニューを聞いたりして誕生会は、それぞれの利用者の誕生日に実施している。節分の巻きずしの海苔を卵焼きで代用し嚥下機能に配慮するなど工夫したり、ハンバーグなどの出前、コンビニエンスストアに食材やお菓子、ケーキなどを宅配してもらうなど地域の社会資源を活用している。また、菜園の野菜を活用したり、食器拭きなどの手伝いをいただくなどして食への興味や楽しみが見出せるよう取り組んでいる。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月の業務ミーティングの中での唱和、理念の掲示を行っている。唱和、掲示を行うことで共有し実践している。	理念は、玄関などに掲示され、「利用者らしく生活できるよう支援するとともに一人ひとりの心に寄り添いたい」という職員の気持ちが表れたもので、毎月、業務ミーティングで唱和し共有に努め介護計画書にも反映させている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の住人に運営推進会議に参加して頂き、地域の行事の情報を頂き、交流を図っていく。	自治会に加入し、デイサービスを通じて地域ボランティアとの交流活動への参加や行事へ参加しながら地域と関わりを持っている。自治会長の協力があり、管理者は、地域の情報収集をし地域貢献ができるよう取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議や避難訓練に参加して頂き、お互いのリスクの軽減に努めている。その中で、認知症の施設である事を説明し、緊急時、協力を得られるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二カ月に一回、運営推進会議を開催している。その中で、利用者様の状態や、事故や行事の報告を行っている。	家族や自治会長、民生委員などの参加があり、会議開催と同時に夜間想定で避難訓練を実施し参加メンバーに見学してもらいながら協力関係を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂き、意見を頂いている。本庁においても、パンフレットを置かせて頂いている。	市職員との協力関係や始良・伊佐グループホーム連合会への協力体制があり、日常的に連携を図っている。管理者は、入所申し込み相談に応じたり待機者の相談やパンフレットを準備するなどして施設を紹介したり介護相談に応じるなどしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の業務ミーティング内で身体拘束委員会を開催し、話し合いを行っている。身体拘束に関する研修を行っている。	身体的拘束等の適正化のための指針が整備されており、定例会議が毎月実施されている。また、職員は、年2回研修会を実施し、知識習得に努め、技術を研鑽している。職員は、利用者が本人らしい暮らしが実現するよう見守りや心配りを徹底し、安心して暮らせるよう取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	業務ミーティング内で、身体拘束防止・虐待に関する研修を、マニュアルを参照しながら実施している。虐待防止のスローガンを施設内の見えるところに掲示している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	業務ミーティング内で、権利擁護に関する研修を行い、権利擁護に関する制度の知識の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前、改訂時には説明を行い、同意を頂くようにしている。面会に来られた際や、契約時、不安等が無いかわきとりを行っている。自社のアンケートを実施している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。そして運営推進会議や面会に来られた際に聞き取りを行い、意見を全スタッフに共有し、運営に反映できるようにしている。	職員は、利用者との暮らしの中での会話や家族との面談、運営推進会議での意見交換を参考にして出された意見や要望などを運営に活かすよう取り組んでいる。家族向けに顧客満足度調査を実施し、希望の多かった外出については、家族に協力を求め個別ケアにて外出を楽しんでもらっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務ミーティング内で利用者様のカンファレンスや業務改善にむけての話し合いを行っている。	毎月のミーティングやカンファレンスなどで業務の見直しや改善に繋がるよう話し合いが行われている。また、管理者と職員は、必要に応じて随時面談をおこない、出された意見などをサービスに活かしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	役割分担を行い、全スタッフが責任を持って仕事ができるようにしている。研修を行うことで、ケアの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、研修を開催している。様々な研修を行うことで、スキルアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連合会や協議会に参加し、会合や勉強会に出席している。近隣の施設と連携を取り、運営推進会議や避難訓練に参加して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、本人様のもとに訪問をし、状態の確認を行っている。そして、これまでの生活情報をご家族から聞き取りを行い日々のケアにつなげている。入居後も、声掛けをいっつつ不安の軽減に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>契約の説明時は、不安に思っている事が無いかを聞き取りを行っている。入居後も不安に思っている事が無いか聞き取りを行い、信頼関係を築ける様にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前、見学や訪問時に、現在の身体状況の聞き取りを行い、その情報を基にケアプランを立てている。医療機関との連携や福祉用具といったサービスが活用できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の身体状況や意思を尊重し、無理のない範囲で、食器拭きや洗濯物畳みといった事に協力を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状態悪化時や緊急時どのような対応を行っていくかを入居前に聞き取りを行っている。必要時には、都度、連携を取り、意見や協力を得ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の面会時には、なるべく居室にて過ごして頂ける様にしている。面会は、いつでも来て頂ける様に伝えている。	家族や親戚、孫や友人、地域住民の面会などがあり、来訪時は居室でゆっくりと歓談していただけるよう配慮している。手紙や葉書などの代読、訪問販売（パンやケーキなど）の受け入れ、コンビニエンスストアの宅配の利用、訪問美容との馴染みの関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係や身体状況に応じ、座席の変更を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、問い合わせや相談があれば、対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴の聞き取りを随時行い、利用者様やご家族の意向を確認している。	入所前の生活歴や日々の暮らしの中の言動などを参考にしながら、本人の思いや意向を把握し、職員全員で共通認識を持ち、家族に確認しながら本人の思いに寄り添うよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様やご家族から、生活歴の聞き取りを行っている。入居前のケアマネジャーや施設からも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のバイタルチェックや声掛けを行う中で身体状態の把握に努めている。状態変化時には、業務ミーティングや連絡帳を活用し情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時、介護保険の更新時には担当者会議を開催している。身体状況が変化した際には、ご家族と連携、情報共有を行い支援方法について話し合いを行っている。	アセスメントシートは法人オリジナル様式で毎月1回カンファレンスでモニタリングの結果を話し合い、本人、家族の意向を踏まえ、ホームの理念が反映された介護計画書を作成している。計画は、随時のモニタリングなどで見直され本人、家族に十分な説明を行い計画を実践している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を利用者様毎に記録している。それらを確認することで情報共有を行っている。業務ミーティング内でカンファレンスを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の希望を聞き、様々なサービスが活用できるようにしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で地域行事についての情報を得ている。また、回覧板を回している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医の定期往診が利用者様5名中5名。入居時に、ご家族の意向や希望の確認を行っている。月2回の往診前には状態報告を行っている。緊急時には協力を頂いている。	家族の協力を得ながら外来受診をされる方がおられるが、概ね訪問診療にて適切な医療が受けられている。訪問看護師や薬剤師などの医療連携があり緊急時の体制も構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は常駐していないが、通所の看護師や、訪問看護で来る看護師と連携を行っている。緊急時は、主治医・訪問看護師と連携を取り、ケアを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した場合は、面会に行くとともに、情報提供を行っている。病院とこまめに連絡し状態確認といった連携を取る。退院時にはカンファレンスを行い、退院後のケアについての情報を頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、大まかな意思の確認を行い、ご家族の希望を確認している。終末期を迎えた場合は、再度話し合いを行い、以降の確認を行い、計画書に署名押印を頂いている。スタッフ間でも情報の共有を行っている。	「重度化した場合における対応の指針」あり、利用者や家族に対して重度化した場合の医療行為などの説明を行っている。看取りについては柔軟に取り組んではいるが、具体的な看取りに対する本人、家族への意思確認が文書化されていないため今後検討したいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応については研修を行っている。緊急時の連絡網を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日中・夜間それぞれを想定した避難訓練を開催し、訓練している。地域の方々の方も参加して頂いている。</p>	<p>年3回避難訓練（夜間想定、自主訓練含む）を実施し、デイサービスと合同で訓練を実施している。夜間想定訓練は、運営推進会議と同時開催し、家族、自治会長の参加があり、水、お粥、缶詰類、防災グッズなどの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けの際には利用者様の尊厳に配慮を行っている。スタッフ間で注意し合うようにしている。	入職時や年2回のミーティング時に接遇マナーの研修を実施、特に言葉の使い方には気をつけるよう意識共有を図っている。男性職員も多いが、言葉使いが丁寧で声のトーンにも気遣っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	不穏が出た場合、話ができる環境を作り、聞き取りを行い、意向や希望の確認を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の意向の確認を行い、他のサービスを活用し、希望がかなえられるようにしている。食事也希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	普段着と寝間着は区別をしている。衣類の選択ができる方は、選んで頂くようにしている。髭剃りや散髪は定期的に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物の希望を聞きつつ、調理を行っている。また、可能な範囲での協力を頂いている。	節分の海苔巻きは、海苔を卵焼きにするなど嚥下しやすいよう意識し調理している。コンビニエンスストアを活用し、ケーキやリクエストを取ったり、出前を楽しんだりしている。また、食事の準備や片付けを手伝う方もおられ、外食は、家族の協力を得て楽しまれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録に残している。利用者様の状態にあった食事形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後、行っている。仕上げはスタッフが介助している。利用者様の状態に合わせて、口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の確認と記録を行い、介助や誘導が必要な方に対しては定期的に誘導を行っている。リハビリパンツやオムツの使用は利用者様の状態に合わせて、支援を行っている。	食事や水分量を把握し、排便のリズムや便秘予防に努めたり、昼間はなるべくトイレで排泄ができるよう声かけ、誘導して排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や排便の状態を記録に残し状態把握に努めている。乳製品や食物繊維の多い食材といったものを活用し、便秘にならないように支援している。医療機関とも連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週二回を基本とし入浴をして頂いている。利用者様の状態や希望に合わせて、入浴をして頂いている。	利用者の心身の状態や希望に応じて、入浴方法を工夫したり、異性介助に配慮しながら入浴が楽しめるよう個々の希望に応じた入浴の支援をおこなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前午後と休息時間を設けているが、利用者様の意向を確認し無理強いはしていない。体調に合わせて誘導を行っている。夜間不眠がある場合は提携医と連携し改善を図っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬が無いよう、処方時に一包化を依頼している。服薬介助前には、スタッフ間でのダブルチェックを行っている。内服の変更時には、全スタッフで共有できるように記録に残している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園芸や日々のレクリエーションを通じ、気分転換を図っている。希望される方に対しては他のサービスを活用し外出もして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節や天気に合わせて庭に出て日光浴の時間を作っている。外出は、ご家族とされたり、他のサービスを活用し行っている。	法人の方針もあり、家族の理解と協力を得て、個別で外出ができるよう支援している。職員は、天候や体調を見ながら、お茶や桃の木の下での食事、庭先に出て日光浴をしたり、同敷地内にあるデイサービスに出かけ地域の方々と交流したりできるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様は基本金銭は持たれていない。必要時には、ご家族に依頼し購入・準備して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族にはいつでも電話の取り次ぎは可能である事は説明を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温・湿度は随時確認を行い、調節を行っている。季節感のある物や草木を飾ったりしている。</p>	<p>玄関には、季節の生花が活けてあり、対面式キッチンから調理する匂いや音が聞こえてくる家庭的な雰囲気である。食堂は、採光があり畳部屋もあって生活感があり、利用者や職員の話し声や互いに過ごす風景が心を和ませている。浴室は脱衣場側からもトイレを使用できるよう配置されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでは利用者様の身体状態、希望に合わせ座席を決めている。関係性や体調に合わせて変更は行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものを持ってきていただく事で居心地の良い空間作りをしている。御家族に協力を頂き写真等を準備して頂いている</p>	<p>管理者は、契約時に本人が使い慣れた馴染みの品を持ち込み、安心な生活できるよう説明し、理解と協力を得ている。ベッドは、無償貸与であるが、転倒予防のための衝撃吸収マットを併用し安全に暮らせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全面では全面バリアフリーとなっている。手すりを設置している。居室やトイレが分かるように表示してある。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない